

# 山口廣和

guitar

# 藪野遥佳

piano

※マスクの着用を必ずお願いいたします。  
※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2021 **05月04日 (祝火)**

開場 14:30

開演 15:00

(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC=3000円 +※No drink & food

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、  
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を  
ご記載下さい。



## 山口廣和

15歳でギターをはじめ、次第にジャズに傾倒。独学で音楽理論を身につけながら各地で演奏活動を開始。2011年、単身で渡米。帰国後にチェロ奏者に師事、クラシックを学び独自のアコースティック・サウンドを構築する。2020年、自身がリーダーをつとめるジャズ、クラシック、現代音楽、民族音楽を織り交ぜたバン「Vortex box」の1st album、「Hirokazu Yamaguchi's Vortex Box」を発表。Hermes 主催のラジオエルメス、NHK-FM、JAL 国際線機内オーディオ、Yahoo ニュースなど各所メディアにて取り上げられる。現在、アコースティックサウンドのみならずエレクトリックサウンド、作編曲と都内を中心にライブ、レコーディングにて活動中。



## 藪野遥佳

3歳の頃よりピアノを始め、幼少期より即興演奏や作曲に親しむ。クラシックピアノを都丸恵子、進藤郁子、池澤幹男の各氏に師事。国立音楽大学演奏学科ピアノ専攻卒業。在学当時よりジャズを始め、2008年東京ジャズ主催の「アフターイベント」Master Class By Hank Jonesにて、ハンク・ジョーンズのマスタークラスを自己のピアノトリオで受講。ジャズピアノを小曾根真、山下洋輔、佐山雅弘の各氏に師事。2010年3月、同大学応用演奏コース（ジャズコース）首席卒業生に贈られる「山下洋輔賞」を受賞。同大学卒業後、Berklee College of Music に入学。ピアノを Ray Santisi、Alain Mallet、Neil Ormstead の各氏に師事するほか、作編曲を Phil Wilson、Greg Hopkins、Scott Free の各氏に師事。その独自の世界観を描いた作品は評価が高く、数々のアーティストより賞賛をうけている。2012年12月、同大学ジャズ作・編曲科を卒業。拠点をニューヨークにうつし、2013年夏に中米ツアーを行い、成功をおさめる。2013年よりイスラエル人ベーシスト、Ehud Ettun との「コラボレーションプロジェクト」The Yabuno Ettun Project を始動。2014年7月に初のアルバム「BiPolar」をリリース。カナダ、アメリカでリリースツアーを敢行。2015年双方の母国である日本、イスラエルでの Homecoming Tour を実現。セルビア、スロベニア、ハンガリー、ポーランドでも公演を行う。現在、Internal Compass をはじめとする様々な音楽プログラムで特別講義を行う他、ピアノトリオ nishkaf で日本ツアーを行うなど、国内外で積極的に活動中。